



「言語発達の研究方法論再考」

お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」の基礎問題プロジェクトの第6回研究会として、言語発達の研究方法論再考をテーマに、子どもの言語獲得の実証的な研究方法について考えます。

司会 浜野 隆准教授

報告

- 臨床面接法・教授実験パラダイムやパペットパラダイムなどを用いて、言語獲得についての実証的な研究法を考察する

内田 伸子教授

- 第二言語習得の研究方法について考察する
—国際結婚家庭における日中バイリンガルの研究を例にして—

李 美静特任リサーチフェロー

質疑応答

- ★研究会はどなたでもご参加いただけます。
皆様のご来場をお待ちしております。

お問い合わせ グローバル事務局 <http://ocha-gaps-gcoe.com/>
Tel 03-5978-5247 e-mail jimu-gcoe@cc.ocha.ac.jp

お茶の水女子大学グローバルCOEプログラム
格差センシティブな人間発達科学の創成

2010年
6/16 (水)
お茶の水女子大学
生活科学部本館
103号室
14:00 ~ 17:00